



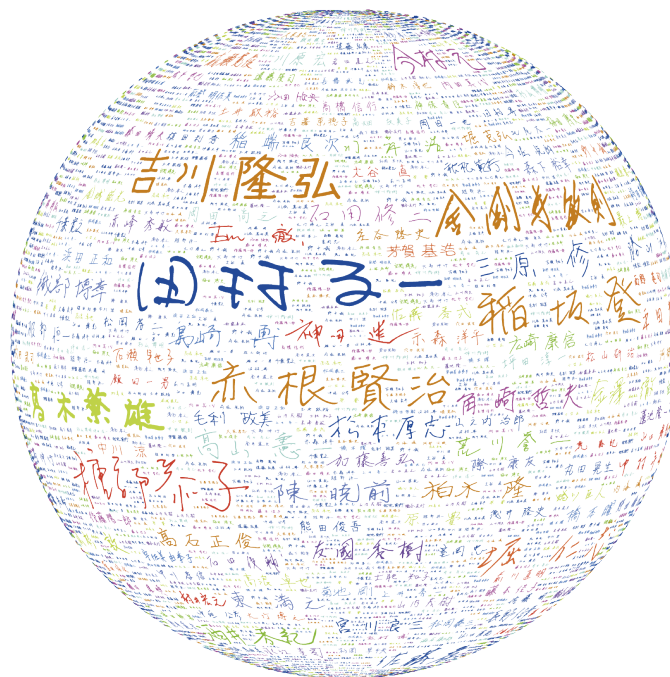
2021年3月期 第2四半期 決算説明会

2020年11月

日医工株式会社 代表取締役社長
田村 友一



安心と信頼への体制づくり



One Heart
One Vision
ONE NICHI-IKO

安心と信頼への約束

《日医工グループ品質方針》

日医工グループは、社員一人一人が医薬品に関する法令を遵守します。世界の患者様とご家族、薬剤師様、お医者様、卸売業者の方々、製薬企業の方々の安心と信頼に応えるため、常に医薬品を開発、製造、販売、管理する自覚と責任感を持って行動し、患者様の病気と気持ちに寄り添うジェネリックメーカーとして世界の方々に貢献するため、私たちは、以下のことを約束いたします。

＜品質行動指針＞

1. 私は、医薬に携わる者として、倫理・道徳を踏まえ法令遵守を徹底します。
2. 私は、たゆむことなく品質の維持向上にこだわりを持って取り組みます。
3. 私は、知り得た情報を共有して適切な判断を行い、安心・安全な医薬品を提供します。
4. 私は、技術の継承、人材の育成、教育の継続を大切に、品質に対する意識を高めます。
5. 私は、私たちの医薬品を安定的に患者様のお手元までお届けするため、自らの役割を果たします。

私たち一人一人は、5つの行動指針に基づき、日医工の“品質”に真摯に取り組み、全社員で育て守りつづけ、安心と信頼を届けていきます。

連結業績は減収減益

日医エグループ減収減益 (19年10月、20年4月の薬価改定影響と受診抑制影響)

Sagentグループ増収減益 (新型コロナ関連製品を中心とした売上伸長により増収)

売上収益	(前年同期 915億円) 896 億円	(-) 国内売上対前年 94.1% (+) 米国売上対前年 118.0% (-) 受診抑制・手術延期による全体的な数量減
コア営業利益	(前年同期 39億円) 13 億円	(+) 国内追補品の順調な売上規模拡大 (-) 薬価改定影響による粗利率低下 (薬価引き下げ率: △10.7%) (-) 米国における内製化に向けたコスト先行
親会社の所有者に帰属する四半期利益	(前年同期 30億円) 1 億円	(-) 前年同期に Aprogen 株式一部売却益 (18億円) を計上

期中レート (PL)

				＜円／ドル＞
2020年3月期1Q	109.90	2021年3月期1Q	107.62	今期予算レート 108.00
2020年3月期2Q	107.35	2021年3月期2Q	106.22	

期末レート (BS)

			＜円／ドル＞
2019年6月	107.79	2020年6月	107.74
2019年9月	107.92	2020年9月	105.80

2021年3月期 第2四半期 セグメント別業績

(決算ベース)

(百万円)	日医工グループ				Sagentグループ				連結			
	前期	当期	増減額	伸長率	前期	当期	増減額	伸長率	前期	当期	増減額	伸長率
売上収益	76,851	72,326	-4,525	94.1%	14,668	17,304	+2,636	118.0%	91,519	89,631	-1,888	97.9%
売上原価	61,170	59,802	-1,368	97.8%	11,339	14,148	+2,808	124.8%	72,509	73,950	+1,440	102.0%
売上総利益	15,680	12,523	-3,156	79.9%	3,329	3,156	-172	94.8%	19,009	15,680	-3,329	82.5%
販管費	9,858	9,708	-150	98.5%	3,121	3,366	+244	107.9%	12,980	13,074	+93	100.7%
研究開発費	1,149	1,001	-147	87.1%	951	877	-73	92.2%	2,100	1,879	-221	89.5%
その他の営業利益	170	144	-26	84.7%	-2	-1	+1	50.0%	168	142	-25	84.5%
その他の営業費用	318	345	+26	108.5%	0	0	+0	-	318	346	+27	108.8%
コア営業利益	4,664	2,449	-2,214	52.5%	-747	-1,088	-341	145.6%	3,917	1,360	-2,556	34.7%
営業利益	4,524	1,612	-2,912	35.6%	-747	-1,088	-341	-	3,777	523	-3,254	13.8%

中間配当 (予定)

15.0円

設備投資額

39億円

(前年同期45億円)

R&D投資

67億円

(前年同期73億円)

減価償却費

63億円

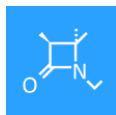
(前年同期54億円)

1 内製化等によるグループ生産体制の最適化

原薬の統一、重複品目（日医工、エルメッド、武田テバ）の見直し
生産体制の適正化、特殊製剤の内製化による粗利率の改善



特殊製剤ラインを活用
(CMO事業の推進)



重複品の統一

日医工グループ全体の
生産体制の適正化

内製化による粗利率の改善

グループ工場生産品最適化

2 品質管理体制の強化

武田テバのグローバル品質管理体制、優れた人財・ノウハウの獲得
品質管理600名体制、受託事業から得られる外部ノウハウ



品質管理人員

グローバル品質基準



受託ビジネス

新品質方針

ハード・ソフトの両面で
品質管理体制を強化

グローバル品質基準に
依拠した品質文化の取り込み

主なアクション

✓ 「日医工岐阜工場統合推進室」設置

✓ 現状の組織・オペレーション把握

✓ 開発、品質管理の協力体制構築

✓ 優先的に統合する重複品の選定

✓ 内製化に向けた設備投資の検討

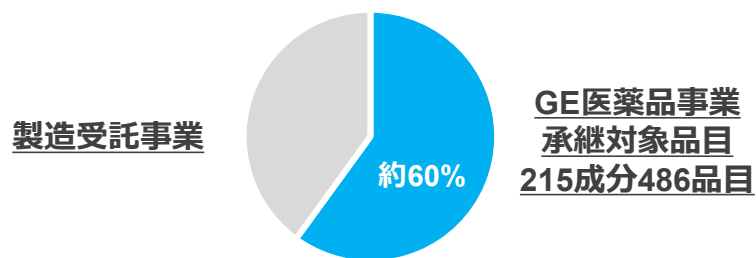
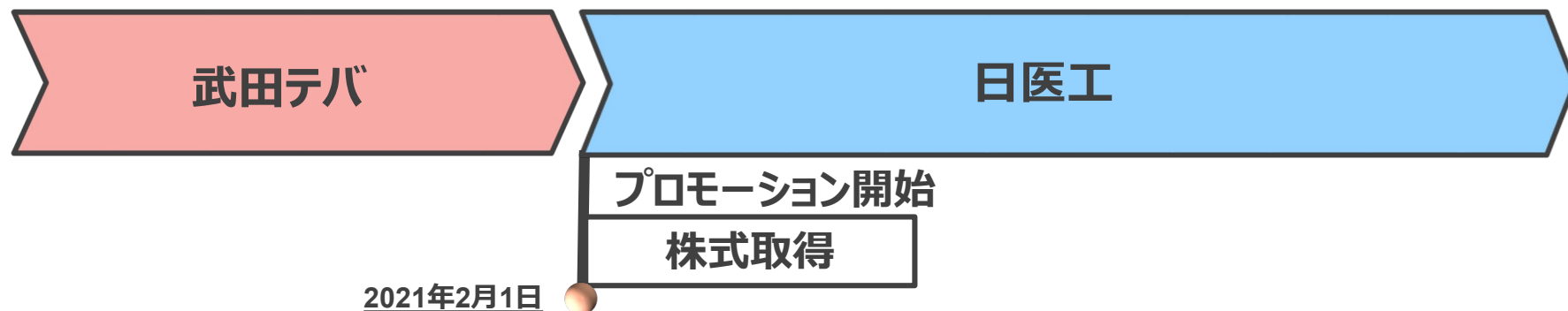
✓ グループ生産最適化に向けたシミュレーション

優先課題

武田テバ製品のプロモーション開始 および品目承継について

2021年2月1日株式取得以降、承継対象となる品目において、

- 製品のプロモーションは、全て日医工が実施し、製造販売承認を複数回に分けて順次承継



対象事業の売上：320億円（2019年12月期）

株式取得以降、受託事業を含めて
全ての売上を日医工グループのP/Lに計上

基本的な承継方法 ※一部例外あり

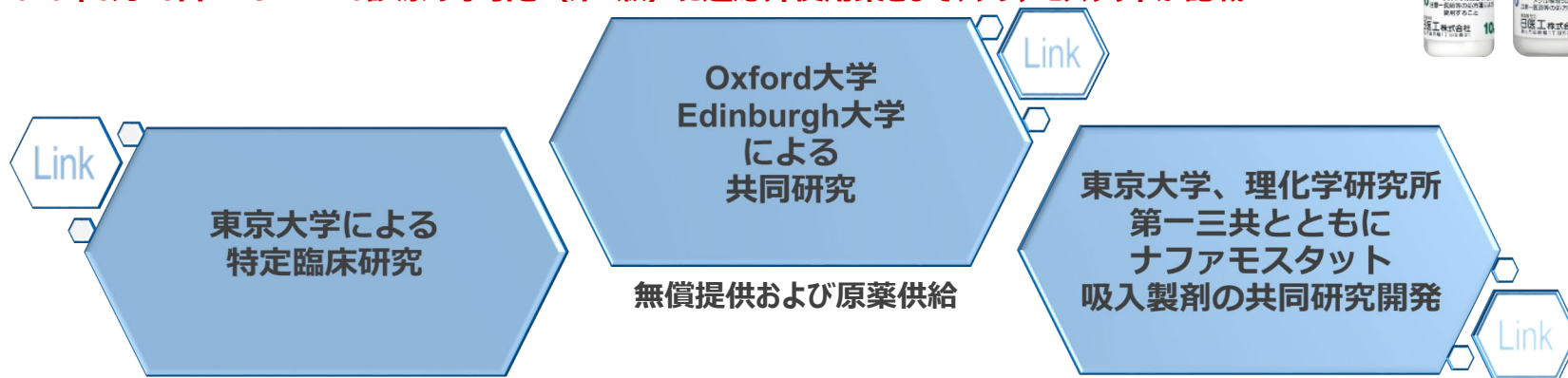
承継先	日医工岐阜工場株式会社
屋号	「日医工G」
流通経路	既存流通

注射用フサン® (成分名：ナファモスタットメシル酸塩)

1986年10月 発売

2019年4月1日 鳥居薬品株式会社より製造販売承継

2020年5月18日 COVID-19診療の手引き（第2版）に適応外使用薬として、ナファモスタットが記載



デカドロン錠 (成分名：デキサメタゾン)

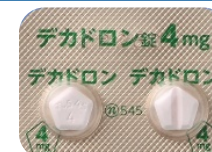
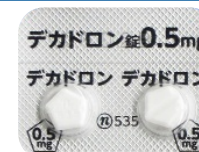
1959年 7月 発売

2010年12月27日 MSD株式会社より、0.5mg錠の製造販売承継

2014年 6月 4mg錠 発売 (学会からの要請を受け開発)

2020年 6月16日 Oxford大学により、デキサメタゾンがCOVID-19の重症症例に効果を発揮するという研究結果が公開

2020年 7月17日 日本国内でCOVID-19診療の手引き（第2.2版）に治療薬として、デキサメタゾンが記載



日医工のLLP事業の意義

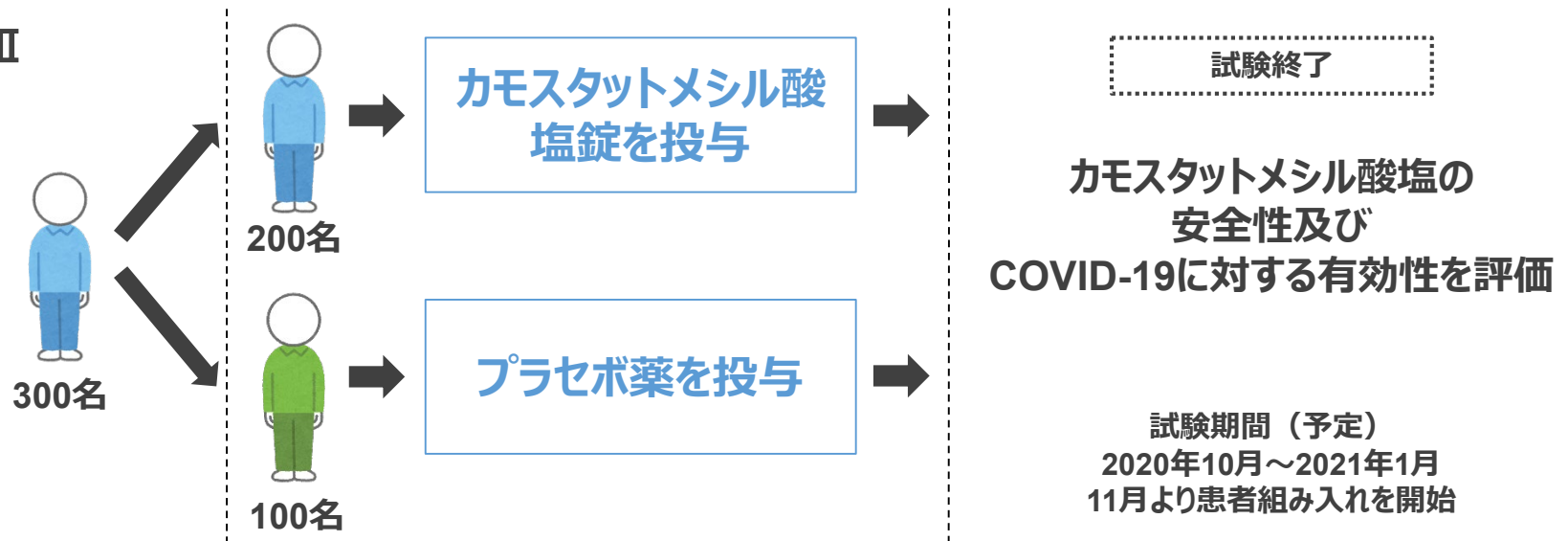
製品の承継と共に、長年に渡って蓄積された臨床データを引継ぎ、
豊富な製品ラインナップを有することでどのような状況下にも対応し、社会のニーズに応える

日医工は今後も、COVID-19への取り組みを積極的に続けてまいります。

CAMostat Efficacy vs. pLacebo for Outpatient Treatment of COVID-19

COVID-19陽性のハイリスク外来患者治療のため、カモスタットメシル酸塩の安全性及び有効性を評価することを目的とした第II相臨床試験

Phase II



米国 8州 14施設が参加予定（20施設を目標）

新製品について

2020年6月追補品『11成分21品目』



参入メーカー
2社

エルデカルシトール



ピルフェニドン
Only One GE



セレコキシブ
GEシェア上位

『2021年3月期 上期』
実績 / 販売計画

23 / 100 億円

(上半期終了時点の販売実績) (受託含む)

2020年12月追補品『5成分15品目』 を上市予定

AGは5品目にラインナップ拡充



プソフェキ配合錠



プレガバリン



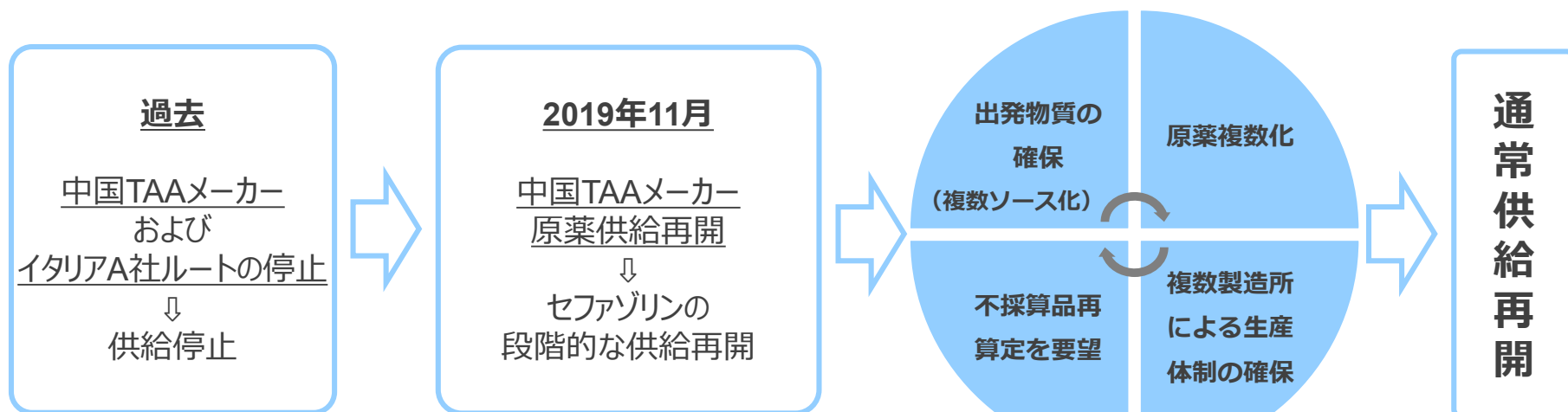
ロレアス配合錠

下期に追補品および受託品の販売計画を遂行
➡ 新製品 100億円の計画達成へ

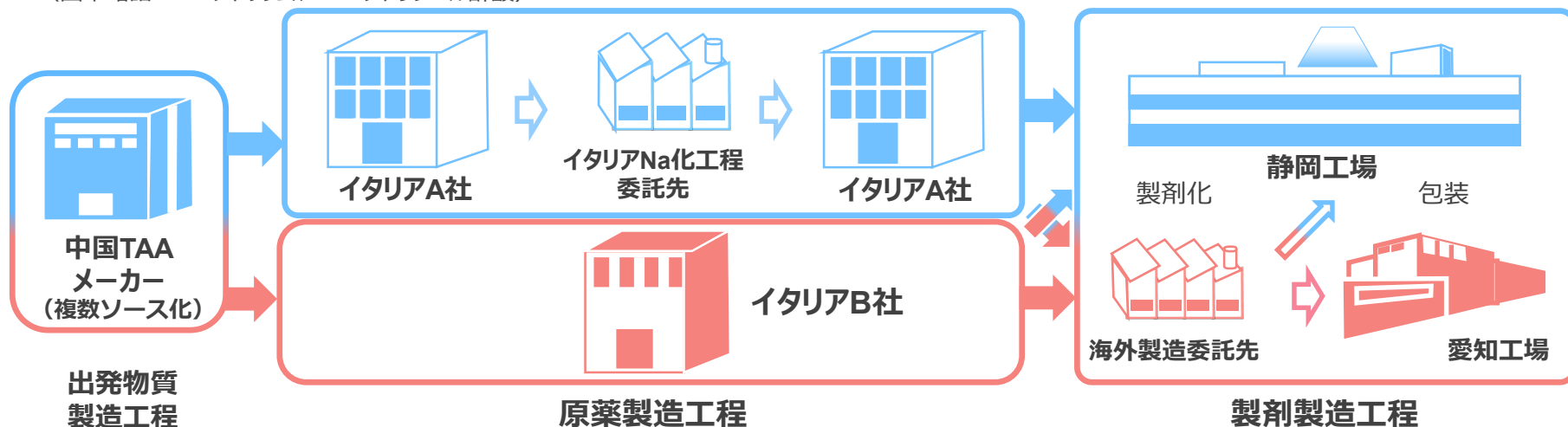
セファゾリンの安定供給体制確立について

2019年11月より段階的に製品供給

➡ 安定供給体制確立への取り組み ➡ 2020年10月1日より通常供給再開



(図中略語：Na ナトリウム、TAA テトラゾール酢酸)



バイオシミラーのパイプラインと開発状況

インフリキシマブ[®]BS（米国）

2020年：Phase IIIを完了
インターチェンジアビリティ



コンサルタント派遣により
スケールアップ再開

2021年：FDA承認申請予定

ベバシズマブ[®]BS（日本）

2020年：海外データを用いて
2020年11月にPMDA承認申請予定



2022年：PMDA承認取得予定

成分	市場	市場規模（億円）	前臨床	フェーズ I	フェーズ III	申請・承認
インフリキシマブ	米国	4,000	フェーズ III 完了			CY2021 申請予定
ベバシズマブ	日本	950	2020年11月に申請予定			2020.11 申請予定

メドピアとの業務提携について

NICHIIKO



MedPeer

2020年9月スタート

ニチメッド株式会社

2020年9月17日設立
合併会社

2019年11月スタート



サービス連携



かかりつけクリニック

診療から服薬フォローまでを
サポートするプラットフォーム



かかりつけ薬局



患者様・ご家族

クリニック
PR

双方向
チャット

診療
予約

オンライン
診療

その他
機能

オンライン診療は、2020年末までにサービス開始予定

処方せん
送信

お薬相談

服薬
フォロー

電子
お薬手帳

オンライン
服薬指導

GE差額
レポート

嚥下
サポート

電子決済

富山第一工場にて

主に空調用熱源燃料として使用している灯油を、LNGへ転換

既存灯油ボイラーを、全て高効率ガスボイラーに更新



CO₂排出量を約**30%**削減

※LNG：液化天然ガス（Liquified Natural Gas）



LNG貯槽 (100kl貯槽× 2 基)



新設予定のガスボイラー (18基)



※ 2021年3月期末までの工事完了と運用開始を目指し、鋭意稼働準備中

日医工はこれからも、

環境に配慮した省エネ対策を推進してまいります。

日医工グループは、これまでに18市と地域連携協定を結びました。
医薬品企業だからできる社会・地域の課題解決にこれからも取り組んでまいります。



協定を結んだ市の
職員様向けに行われた
セミナーの様子



滑川市 2019/08/23

松戸市 2019/08/30

富山市 2019/11/08

射水市 2019/12/06

高岡市 2020/01/17

いなべ市 2020/02/12

松阪市 2020/02/12

苫小牧市 2020/03/24

野々市市 2020/03/26

北広島市 2020/04/09

かほく市 2020/07/10

小矢部市 2020/08/28

吉川市 2020/09/30

魚津市 2020/10/06

荊崎市 2020/10/08

高山市 2020/10/13

南砺市 2020/10/21

氷見市 2020/10/22

UPDATE

5月公表時点：10市

➡ 現在：18市



2021年3月期 通期業績予想

- ◆ 上期業績およびCOVID-19の影響を鑑みて、売上・コア営業利益を修正
- ◆ 武田テバのジェネリック事業譲受による影響額の算出が現時点では困難であることから、営業利益および当期利益に関して通期予想を未定とし、算出が可能となった時点で速やかに公表する予定

(百万円)	2021年3月期	
	通期予想 (当初)	通期予想 (修正)
	連結	連結
売上収益	199,000	190,000
コア営業利益	7,500	6,500

年間配当 (予定) 30.0円	R&D投資 114億円 (2020.3実績137億円)
設備投資額 93億円 (2020.3実績84億円)	減価償却費 112億円 (2020.3実績118億円)

不透明要因
「武田テバGE事業譲受」
「COVID-19」「為替レート」「中間年改定」

◆ COVID-19の影響

- 国内における受診抑制の継続

◆ 新製品の伸長

- 2020年6月追補品の伸長
- 2020年12月追補品（AG2成分含む）の伸長
- （AG）リマプロストアルファデクスの伸長

◆ 米国のCOVID-19対応

- COVID-19関連製品の供給増加

◆ SterRx 製品増産およびラインナップの拡充

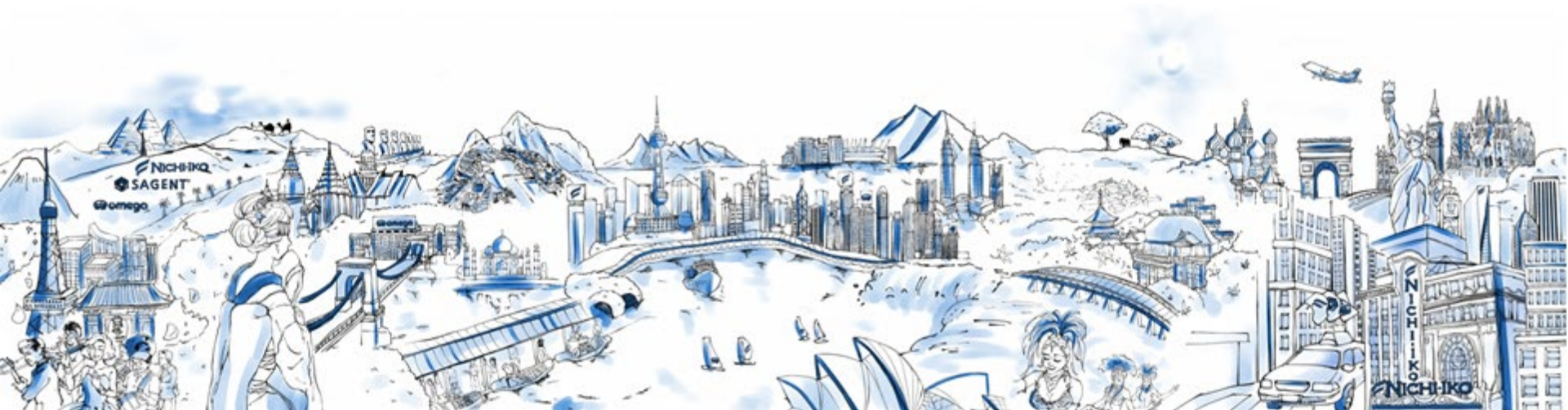
◆ 米国において複数品目上市予定

※ 武田テバ社GE事業および岐阜工場の承継については、2021年2月に分割会社の全株式取得予定。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

ミッションステートメント

我々は、我々のジェネリック医薬品が
世界の患者様とそのご家族・薬剤師様・お医者様・
卸売業者の方々・製薬企業の方々に必要とされ、
提供し続けるために自ら存続する努力を行い、
ジェネリックメーカーとして世界で卓越する。



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり 潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。